

みまもりさんになるには

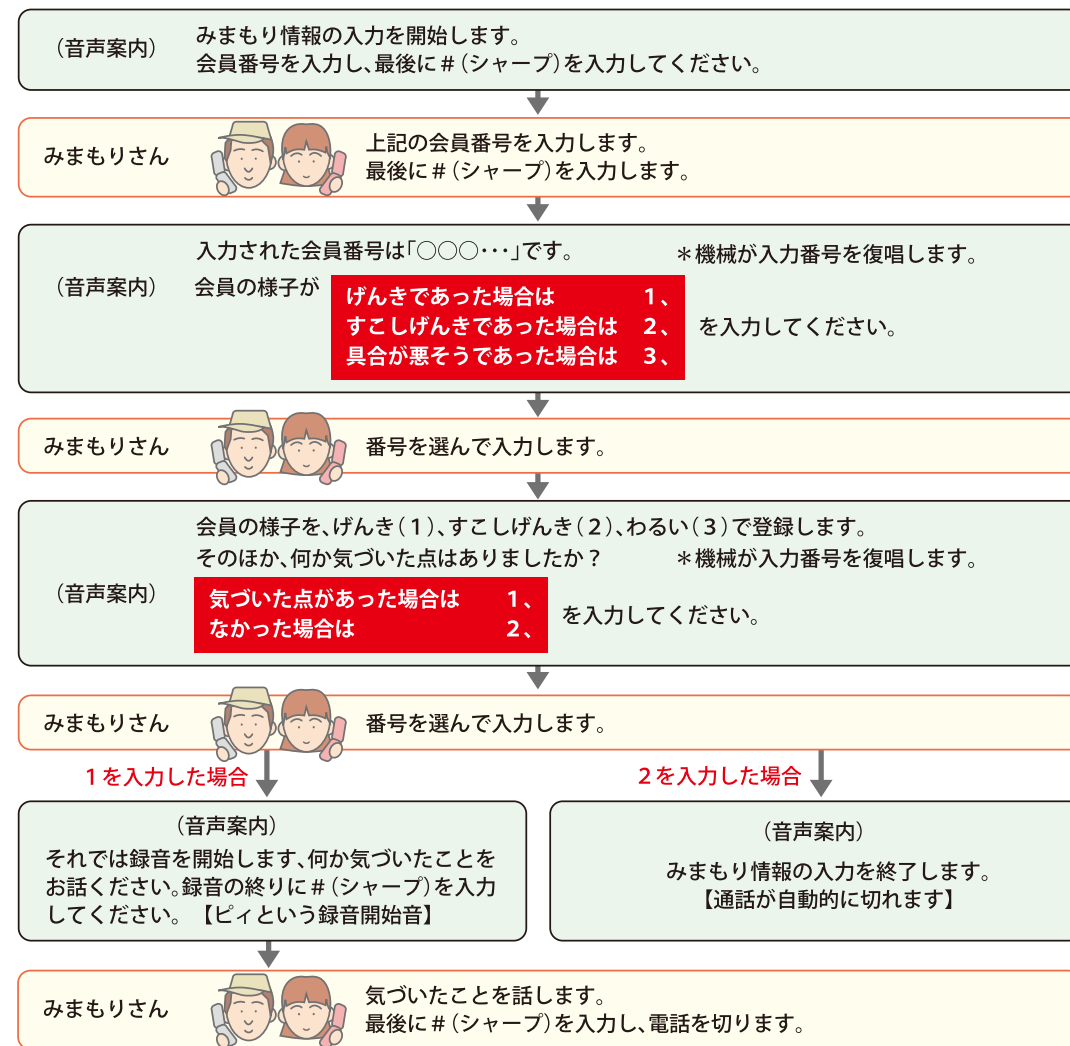
- 最寄りの市町村社協(“おげんき”みまもりセンター)にご連絡ください。
- “おげんき”みまもりセンターの職員がご自宅へお伺いし、いわて“おげんき”みまもりシステムの内容についてご説明いたします。
- ご利用いただく場合「協力申込書」に、必要事項をご記入していただきます。
- みまもりさん養成研修を受講していただきます(半日程度)。
- あなたにみまもりをお願いする“おげんきさん”は、あなたと社協と“おげんきさん”ご本人が話し合っ決めてことにします。
- みまもりセンターでは、あらかじめご利用の電話番号を登録いたします。

➡ 電話番号の登録が終わりましたら、ご利用開始となります。

システムの操作方法について

- ご自宅の電話機で簡単に操作ができます。

➡ 019-653-2066 に電話をかけると音声のご案内が流れます。



※このパンフレット作成にあたり、「みまもりさん養成研修テキスト」(岩手県立大学社会福祉学部教授小川晃子作成)の内容を一部引用しています。

お問い合わせ

みまもり協力者(みまもりさん)を募集しています

「いわて“おげんき”みまもりシステム」のご案内

みまもりさん用

「いわて“おげんき”みまもりシステム」は、地域に暮らす高齢者の皆さんが、自立しながら安心して生活が送れるよう開発した、みまもりシステムです。高齢者の方(おげんきさん)をみまもっていただける協力者(みまもりさん)を募集しています。

ほとんど会えない人もいます。そんな人から発信があれば安心ですね。

久慈市 Mさん (民生委員)

人と人の繋がりが複雑な地域だから、役に立つと思います。

盛岡市 Oさん (民生委員)

面積が広い地域ではこのシステムがあるから助かるという声が多いです。

宮古市(川井) Hさん (団体職員)

電話だけでは分からない、毎日の小さな変化に気づきます。

盛岡市 運輸業 (民間事業者)

自分が年をとって一人暮らしになったときのことを考えて、今できることをしたいと思っています。

盛岡市 Kさん

“おげんき発信”を使うようになってから会話する機会が増えました。

二戸市 Nさん (家族)

社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会
いわて“おげんき”みまもり支援センター

「みまもり」について

「みまもり」とは？

一人暮らしやご夫婦で生活している高齢者の方々が、「無事であるように注意をしながら、成り行きに気をつけながら見る」ことです。

「みまもり」がなぜ必要なの？



社会の長寿化・高齢化に少子化があいまって、一人暮らしや高齢夫婦のみで暮らす世帯は増加しています。
高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるように、地域住民や協力機関、協力事業所等で一体的に地域で支えていく仕組みをつくることが必要な社会になっています。

「みまもり」はどのように行われているのでしょうか？

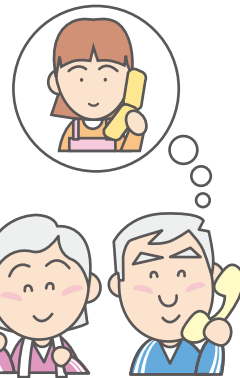
地域のみまもり活動は、多様な機関や人々によって行われています。

- 社会福祉協議会や民生委員など社会福祉の関係者は、**決められた仕事や役割**のなかで取り組んでいます。
- 町内会や老人クラブの方々は、地域(コミュニティ)での**互助的な住民活動**のなかで取り組んでいます。
- 知人や別居親族など、**私的なつながり**のなかでみまもる人もいます。
- 最近では、**企業が社会貢献活動**として、また**見守りビジネス**として取り組まれるようになってきています。
- 今回のシステムでは、個々ばらばらに取り組まれている見守りの力を結集できるよう、**組織化する**ところに特徴があります。



「みまもり」の効果は？

- 定期的なみまもり活動をすることで、**緊急時や異変を早く把握し、適切な処置**につなぐことができます。
- 長期的なみまもり活動をすることで高齢者の変化がわかり、**予防的な対処**ができます。
- みまもり活動により社会的なつながりができることで、**様々な問題解決力が高まります**。
- 社会的な孤立状態ではなくなることで、**安心感と自立促進**が図られます。
- **離れて暮らす家族のみまもりが意識化**され、地域のみまもりの方と気づきがたつようになるようになります。
- みまもり活動は、**安心して住み続けられる地域づくり**につながります。

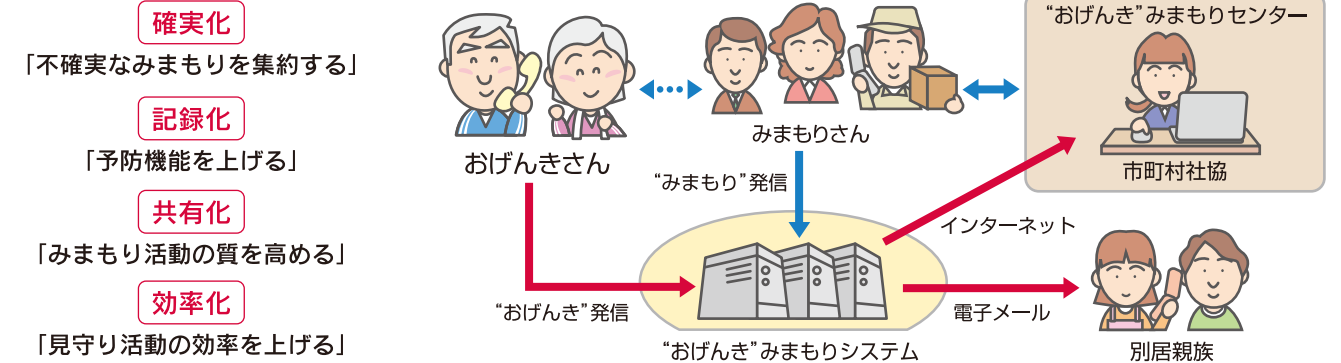


「みまもり協力者」には、市町村社協の職員や、医療・福祉機関の職員、民生委員児童委員、老人クラブや町内会など隣近所の方、企業の従業員など多様な方々を想定しております。

「いわて“おげんき”みまもりシステム」(情報通信技術を活用したみまもり)

岩手県社会福祉協議会では、岩手県立大学との連携のもと平成20年度より事業に取り組み、「いわて“おげんき”みまもりシステム」を開発、実験運用を開始しました。

「いわて“おげんき”みまもりシステム」は、最新の情報通信技術を活用しています。情報通信技術の力を利用して、次のような特徴をもつシステムです。



情報の発信には、家庭用の電話機を使います。
新たに機材を購入したり、取り付けたりといったことは全く必要ありません。

“おげんき”発信(システム参加高齢者)

- このシステムを利用する高齢者を「**おげんきさん**」と呼びます。
- 高齢者の方(おげんきさん)が**自発的・能動的**に自宅の電話機を使って健康状態を発信していただきます。
- おげんきさんは、1日に1回、午前中に、自分のからだの調子を確認した上で、あらかじめめしられた番号に電話をかけます。



- (発信する項目)
1. げんき
 2. すこしげんき
 3. ぐあいがわるい
 4. はなしたい

みまもり協力者(みまもりさん)の役割

“みまもり”発信(みまもり協力者)

- あらかじめ登録されたみまもり協力者を、このシステムでは「**みまもりさん**」と呼びます。
- あなたの“みまもり”発信は、“おげんき”みまもりセンターに届きます。
- みまもりさんは、みまもりをしていて気がかりなことがある場合に、**019-653-2066** に電話をかけます。
“おげんき”発信とは異なり、毎日入れる必要はありません。隣人としての日常的な交流や、民生委員活動のなかで気づいた気がかりなことがあれば、それを発信していただきます。
- “おげんき”発信の確認は、最寄りの市町村社協(“おげんき”みまもりセンター)が行います。
・発信の確認が出来なかった時
・発信の内容により確認が必要と思われた時
等に、“おげんき”みまもりセンターから確認の依頼があります。



- (発信する項目)
1. げんき
 2. すこしげんき
 3. ぐあいが悪そう

※費用負担について
みまもり発信をする際の電話料金(電話会社に支払う料金1回につき10円程度)は、みまもりさんの負担となります。